

# くすのき

西合志第一小学校  
学校だより 第49号  
文責 校長 西村羊治

校訓「かしこく やさしく たくましく そしてふるさとを愛する子どもに」

令和6年11月26日

## 親子の絆

私の好きなテレビ番組に某局の「サラメシ」があります。中井貴一さんの語りも私との波長が合って心地よいです。11月21日（木）夜の放送を見ていると、父と5年生の息子2人暮らしが紹介されました。11歳の息子は4歳の時からサラメシを見て、料理を少しずつ手伝うようになって、今ではお父さんの弁当を毎日作っているとのことでした。おばあちゃんに教えてもらった卵焼き、ウインナーにきれいに切れ目を入れておいしそうな焦げ目をつけての料理、野菜のソテー、鶏の唐揚げなどを手際よく作っていました。作った後は疲れていましたが、お父さんのことが本当に大好きで、お父さんとじゃれ合っている姿がなんとも言えない温かい雰囲気でした。私は、一人テレビの前でニヤニヤしていました。お風呂も一緒に入って、一緒に寝て、お父さんと息子の二人きりの温かい雰囲気がとても良かったです。息子が作った弁当を食べているときにテレビのスタッフが、お父さんにインタビューしていましたが、「息子さんが将来彼女を連れてきたらどうしますか。」という質問に一時の間をおいて、「一度は反対します。」と言われるお父さんの言葉に、息子への大きな愛情を感じました。その後、「息子は35歳までお父さんと一緒にお風呂に入るといっています。それもまた気持ち悪いけど。」と笑いながらいってました。父子家庭を卑下することなく楽しんでいる二人に愛情のすばらしさと笑いをたくさんもらいました。今までよりさらに「サラメシ」のファンになりました。今後も時間があれば見たいと思います。私も実は、料理は嫌いではありません。時間があればしたいです。ちなみに、お好み焼き・カレーライス・卵焼き・おにぎり・鶏モモの甘辛煮など作ったことがあります。

食は命の源です。西合志第一小が校のみなさんも毎日しっかり食べて、健康でいてくださいね。

6年生を前に授業をする教え子

## 教え子の「成長」

11月18日（月）、学校に通勤した後、事務の松田先生から一通の手紙が私宛に届いていると渡してくださいました。手書きの私宛の手紙でした。丁寧な字で4枚の心のこもった内容でした。嬉しくて何人かの先生に自慢しました。

今は大学2年生で将来教師になるための勉強を頑張っているとのことでした。実はその教え子とは、たった1年間の関わりでした。6年生の時、担任をさせていただいたのです。私は、その前に6年間教務主任をしていましたので久しぶりの担任でした。担任に戻りたいとの気持ちは大きかったのですが、6年間のブランクは想像以上に大きかったです。子ども達にとってわかりやすく楽しい授業はできないし、子ども同士をつなぐ学級経営はできないし、担任失格と思い続けた1年間でした。でも大学2年となった今、教職の勉強をする中で6年生当時の担任であった私のことをふと思い出し、手紙を書いてくれたとのことでした。本当に嬉しかったです。

また、別の話ですが、11月12日（火）に河江小学校の授業研究発表会に参加しました。小学4年生だった時に私が受け持った教え子が、6年担任として授業をする様子を見せてもらいました。4年生だった子が教師となり、立派に担任をしているのです。「成長」を感じざるにはを得ません。立派な授業で嬉しかったです。

私は、「私に教師は無理だ、辞めた方がいい」と今まで何度も思ってきましたが、教え子の成長を感じ、教師を続けてきて良かったと思う出来事が重なりました。

西合志第一小のみんなの「成長」も常に期待しております！

